

議案第30号

令和3年度 公益財団法人川崎市生涯学習財団「経営改善及び連携・活用に関する取組評価」について

(別紙) 議案第30号 資料

参考資料1 「経営改善及び連携・活用に関する方針」
(公益財団法人川崎市生涯学習財団)

令和4年8月23日

教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課

経営改善及び連携・活用に関する取組評価

(令和3(2021)年度)

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
-----------------	-----------------	------------	----------------------

1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

本市施策における法人の役割

本市の生涯学習の推進のために、全市的・広域的視点から市民の課題解決に向けた生涯学習の支援を行うとともに、シニア活動支援事業、かわさき市民アカデミーへの支援など市民の高度・専門的な学習ニーズに対応した学習の場を提供し、学校教育やNPO法人、民間事業者、大学等の多様な主体との連携により、市民の学習成果を学校教育や青少年の学校外活動、まちづくりに活かせるよう地域の人材を育成するほか、市民の誰もが、いつでも、どこでも自主的に生涯学習に取り組めるような環境づくりを進めます。

	市総合計画と連携する計画等	基本政策	施策
法人の取組と関連する計画		子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり	自ら学び、活動するための支援
	分野別計画	かわさき教育プラン	

4カ年計画の目標

本市の生涯学習の推進のために、全市的・広域的視点から市民の課題解決に向けた生涯学習の支援を行うとともに、シニア活動支援事業、かわさき市民アカデミーへの支援など市民の高度・専門的な学習ニーズに対応した学習の場を提供し、学校教育やNPO法人、民間事業者、大学等の多様な主体との連携により、市民の学習成果を学校教育や青少年の学校外活動、まちづくりに活かせるよう地域の人材を育成するほか、市民の誰もが、いつでも、どこでも自主的に生涯学習に取り組めるような環境づくりを進めます。また、公益財団法人としての使命をより積極的に果たしていくため、収益事業・施設提供事業による収益増に取り組むほか、組織体制や事務分担、各事業、委託業務等の見直しにより、効率性を高めることでコスト縮減を図り、安定的な経営基盤の確保を図ります。

2. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (令和3(2021) 年度)	実績値 (令和3(2021) 年度)	達成度 (※1)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の 方向性 (※4)
①	生涯学習に関する学習機会提供及び活動支援事業	事業参加者数	人	12,094	12,700	7,327	d	E	II
		事業別の行政サービスコスト	千円	24,285	26,679	22,309	1)	(3)	
②	生涯学習に関する情報収集、情報提供及び調査研究事業	ホームページアクセス件数	件	53,674	54,600	50,767	c	C	II
		学習情報掲載件数	件	1,832	2,032	2,161	a		
		事業別の行政サービスコスト	千円	10,792	11,635	11,465	1)		
③	寺子屋先生養成事業	寺子屋先生養成講座を受講し、「地域の寺子屋事業」の運営へ新たに参加した人数	人	48	50	54	a	A	I
		事業別の行政サービスコスト	千円	597	661	742	3)	(2)	

3. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (令和3(2021) 年度)	実績値 (令和3(2021) 年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	自主財源の増加	授業料等収入の増加	千円	24,571	27,701	22,565	c	C	II
		施設使用料収入の増加	千円	20,717	21,788	22,744	a		
②	財務改善	管理費の縮減	千円	118,125	112,711	83,850	a	A	I

4. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (令和3(2021) 年度)	実績値 (令和3(2021) 年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	人材育成研修の実施及びコンプライアンスの遵守	研修の実施回数	回	4	5	5	a	A	I
		コンプライアンスに反する事案の発生件数	件	0	0	0	a		
②	事業・業務の点検	実施回数	回	1	2	2	a	A	I

(※1)【a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1. 実績値が目標値の100%未満、2. 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3. 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4. 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】

本市による総括

各取組の評価結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など

【令和2(2020)年度取組評価における総括コメントに対する法人の受止めと対応】

- ・令和2(2020)年度の取組評価結果を踏まえ、令和3(2021)年度については、ホームページを定期的に更新するのみならず、閲覧者が新着情報をすぐに把握できるようホームページの画面を改善するなど生涯学習情報の内容充実に努めました。
- ・また、経営健全化に向けた取組として、令和2(2020)年度に公衆無線LANを、令和3(2021)年度に有線LANを整備することでオンライン講座の安定性を図りました。今後とも、市民が安全安心に利用できる施設として、市民のニーズをしっかりと取り入れた講座の開催・企画の展開を進めてまいります。
- ・なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により各種講座・学級が中止・規模縮小をしながらも、収入の増加と管理費の縮減に努めるとともに、安定的な財務基盤の確保や公益比率の維持に向けた取組を着実に進め、より一層の自主・自立的な経営を目指し、取組を進めているところです。

【令和3(2021)年度取組評価における総括コメント】

- ・令和3(2021)年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、定員制限・感染症対策を講じながらオンラインを併用した取組を推進してきました。
- ・「本市施策推進に向けた事業取組」については、このような社会状況下で、事業の参加者数は目標値を達成することはできませんでしたが、ホームページを定期的に更新するのみならず、積極的に学習情報を収集し、「生涯学習に関する情報収集、情報提供及び調査研究事業」における「学習情報掲載件数」が目標を上回る実績を上げたことは評価できます。
- ・「経営健全化に向けた取組」については、自主財源の増加とともに、管理費の縮減が求められているところです。「施設使用料収入の増加」だけでなく、「管理費の縮減」についても、目標値を上回ったことは評価できます。引き続き収入の増加と管理費の縮減に努めるとともに、安定的な財務基盤の確保や公益比率の維持に向けた取組を着実に進め、より一層の自主・自立的な経営を目指す必要があります。
- ・「業務・組織に関する取組」については、人材育成研修の実施及びコンプライアンスを遵守した上で、適切に事業・業務の点検を行い、次年度の事業計画へ反映させたことは評価できます。
- ・今後も、公益財団として全市的・広域的に生涯学習の支援を行うとともに、多様な団体と協力・連携しながら、本市の生涯学習の推進に寄与することを期待します。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
----------	-----------------	-----	----------------------

2. 本市施策推進に向けた事業取組①(令和3(2021)年度)

事業名	生涯学習に関する学習機会提供及び活動支援事業
計 画 (Plan)	
指標	事業参加者数
現状	高い専門性を備えた継続的で系統的な学びの場であるかわさき市民アカデミー協働事業や川崎市の子どもたちが、友好自治体との交流を行うサマーキャンプなどの青少年学校外活動事業、シニア世代を対象に、これまで培ってきた経験や知識を活力ある地域社会づくりや学校支援に活かすシニア活動支援事業などを行っています。
行動計画	①かわさき市民アカデミー協働事業については、事業広報や会場の確保、対外活動支援等を継続して実施し、参加者の増加を目指します。 ②青少年学校外活動事業については、内容の充実を図るほか事業内容の魅力の向上に努め、参加者の増加を目指します。 ③シニア活動支援事業については、生涯学習ボランティアの養成講座の実施と学校等への生涯学習ボランティアの派遣、学習した知識・経験を活かし地域貢献をめざす市民アカデミー地域協働講座、シニア活動講演会を継続して実施し、生涯学習に取り組むシニア世代の拡充を目指します。 ④その他支援事業については、ランチタイムロビーコンサート等を継続して実施し、本法人が実施する各事業の周知に努めます。
具体的な取組内容	各事業について、広報の実施手法や講座の内容等を工夫するとともに、収支を考慮しながら市民ニーズの把握・企画の工夫等により参加者増に努めます。令和3(2021)年度においても、令和2(2020)年度に引き続きICT活用を進め、各種講座等のオンラインによる展開を積極的に進めてまいります。また、当財団主催の講座等の参加者が学んだ成果を地域づくりや市民活動に活かすことができるよう取組を進めます。 新型コロナウイルス感染症対策として、各事業における講座では、ソーシャルディスタンスの確保等を考慮し、適切な定員を設定して実施します。なお、青少年学校外活動における「ふれあいサマーキャンプ」は新型コロナウイルス感染症拡大状況を注視しながら実施の可否について検討します。ランチタイムロビーコンサートは検温・消毒、密を作らないことを徹底するとともに、出演者の演奏内容により開催方法や会場を考慮して、実施していきます。

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】</p> <p>①かわさき市民アカデミー協働事業 ・令和2(2020)年度から引き続きコロナ禍の状況で定員制限や感染症対策を講じながらほぼ計画どおり実施し、広報の協力、会場確保、オンライン講座実施に向けた支援を行い、受講者は延べ5,474人(令和2(2020)年度より2,682人増)でした。 ・学習した知識・経験を活かし地域貢献を目指す目的で、かわさき市民アカデミーと協働で大学等高等教育機関・地域団体・企業等と連携した講座、ボランティア活動につなげる「地域協働講座」等を実施し、受講者は延べ259人(令和2(2020)年度より135人増)でした。地域協働講座からは、発達障害講座の受講生からなる学習グループができ、中原区市民提案型事業に採択されるなどの成果がありました。 ・アカデミーフェスタは中止となりましたが、開講式(139人)、受講生のつどい(52人)はオンラインを併用しながら実施しました。</p> <p>②青少年学校外活動事業 ・「ふれあいサマーキャンプ」は4月の実行委員会時点では感染症対策を十分にとりながら実施の方向で進めていましたが、その後交流先の自治体全てから中止の申し出があり、応募定員の84名を大きく上回る164名の応募があったものの、やむを得ず事業すべてを中止としました。 ・「キッズセミナー」については、令和2(2020)年度は大幅に縮小して開催しましたが、令和3(2021)年度は21講座で実施し、受講者は延べ661人でした。(前年度より18講座増、受講者は延べ632人増)。 ・令和2(2020)年度に中止した「子ども陶芸教室」については、令和3(2021)年度については開催し、受講者は15人でした。</p> <p>③シニア活動支援事業 ・「生涯学習ボランティアの養成・派遣」について、PCボランティア養成講座は1月に実施し、5人(令和2(2020)年度より3人減)が受講しました。 ・地方創生交付金を活用した、ICT活用ボランティアの養成講座を受託し、「かわさきGIGAスクール構想」と連携したChromebookのスキルを習得する講座を実施し、定員を超える応募があり21人受講しました。 ・保育ボランティア養成講座は6人受講しました。 ・ボランティアの派遣では、新型コロナウイルス感染症の影響により学校からの派遣要請が減ったことから、PCボランティアは令和2(2020)年度より41人減の延べ66人となったものの、生徒と距離を取ることができる講義形式の環境学習ボランティアは令和2(2020)年度より40人増の延べ64人の派遣となりました。また、陶芸ボランティアは延べ17人派遣しました。 ・「シニア活動講演会」については中原市民館と共催し、シニアの健康・生きがいの増進をテーマとしてシニア登山家を講師として迎え受講者は延べ66人の参加がありました。</p> <p>④その他支援事業 ・「ランチタイムロビーコンサート」は新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用、手指消毒、検温への協力を依頼するとともに、飛沫防止用ビニールシートの設置、鑑賞人数の制限、状況に応じて延期・中止するなど感染症対策を講じながら9回(令和2(2020)年度は5回)実施し、延べ360人参加しました。鑑賞を希望する市民の要望に応えるためにも感染症対策を行い、工夫をして開催していきます。 ・中原区との共催による「ミミケロ子育ておしゃべり広場」については、新型コロナウイルス感染症拡大状況に応じて、対面又はオンライン開催により、計画通り9回実施することができ、延べ122人参加しました。</p>
----------------	---

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業参加者数	目標値	12,094	12,700	12,700	12,700	12,700	人
	説明 事業参加者数で測ります。	実績値		13,308	12,722	3,539	7,327	
指標1 に対する達成度		d	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中止になった事業がある一方で、実施できる事業については1部屋あたり定員の半数程度の募集人数で実施しました。事業参加者数の実績値は目標値の12,700人を下回り、7,327人(かわさき市民アカデミー協働事業5,924人、青少年学校外活動事業676人、シニア活動支援事業245人、その他支援事業482人)となりましたが、コロナ禍において感染防止対策を講じた上で、対面で事業を実施できたことは、事業参加者の学習意欲に応えることができたのみならず、人とのつながりが減少する中で、学習を通じたつながりづくりに寄与しました。
 ・市民アカデミー協働講座などの一部の事業では対面のみならず、オンラインも併用しながら工夫して事業を実施することで、1,254人にオンラインで参加いただき、対面型の事業に参加できない方にも、学習の機会を提供することができました。

	区分	区分選択の理由
	達成状況 A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	E ・かわさき市民アカデミーとの協働事業、青少年学校外活動事業やシニア活動支援事業などの各事業について、中止や規模縮小が有りながらも、検温や消毒、広い会場の確保、WEB会議システムを導入した講座の実施など、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら事業推進に向け取組を行ったが、事業参加者は「7,327人」となり、目標の「12,700人」を達成することはできなかったため。

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	24,285	26,679	26,679	26,679	26,679	千円
	説明 直接事業費ー直接自己収入	実績値		26,061	22,029	18,285	22,309	
行政サービスコストに対する達成度		1)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上					

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

・令和2(2020)年度に中止となっていた事業が計画どおり実施できたことで、令和3(2021)年度の直接自己収入(3,068千円)が増加(対前年度比+1,851千円)したものの、同時に直接事業費(25,377千円)も増加(対前年度比+5,875千円)しました。
 ・直接自己収入増加の主な理由は、キッズセミナーや地域協働講座の受講者の増加に伴い授業料等収入が増加したことが挙げられます。
 ・直接事業費増加の主な理由は、かわさき市民アカデミーの運営では広報チラシの作成・配布や会場賃借料の増加、青少年学校外活動事業・シニア活動支援事業では謝金等の諸経費の増加が挙げられます。
 ・令和3(2021)年度は、人件費や講師謝金等の固定費に対して、感染症対策のため1部屋あたりの定員を制限したことから参加者1人当たりのコストはコロナ禍以前に比べて増加しています。ただし、コロナ禍における引きこもりや人的交流の減少、シニアの孤立等を防ぐためにも事業実施の価値は高く、一定の効果はあるものと考えられます。

	区分	区分選択の理由
	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度等を踏まえ評価)	(3) ・令和3(2021)年度については、行政サービスコストの実績値は目標値の範囲内であった一方で、事業参加者数の実績値が目標値を達成することができなかったため。

改善 (Action)

	方向性区分	方向性の具体的内容
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	II I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	・新しい生活様式への対応は今後も重要な課題であるため、対面とオンライン併用のハイブリット方式で事業を実施するなど、積極的にICTを活用していきます。 ・また、今後についても、参加者1人当たりの行政サービスコストを意識しながら、市民ニーズや地域課題等を的確に把握し、より効率的・効果的な事業展開を行います。 ・さらに、「次期「経営改善及び連携・活用に関する方針」」では、事業参加者のみならず事業参加者満足度を指標とし、より多くの方々に参加いただけるよう努めます。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
----------	-----------------	-----	----------------------

本市施策推進に向けた事業取組②(令和3(2021)年度)	
事業名	生涯学習に関する情報収集、情報提供及び調査研究事業
計 画 (Plan)	
指標	①ホームページアクセス件数 ②学習情報掲載件数
現状	生涯学習プラザ情報コーナーの紙媒体情報、生涯学習情報誌「ステージアップ」による情報提供を行うとともに、本法人が運営するホームページ「かわさきの生涯学習情報」で川崎市や関連施設・団体等の生涯学習情報を広く情報発信・提供しています。
行動計画	引き続き、生涯学習プラザ情報コーナーの紙媒体情報や生涯学習情報誌での情報提供を行うとともに、本法人が運営するホームページ「かわさきの生涯学習情報」で川崎市や関連施設・団体等の生涯学習情報を広く情報発信・提供していきけるようにホームページの充実を図ります。また、情報提供先と連絡を密にし、情報収集の拡充に取り組みます。
具体的な取組内容	生涯学習関連施設・団体の事業情報等、民間教育機関を含めより多くの情報源から積極的に情報収集を行い、財団ホームページをより見やすく、かつ興味を集めるよう充実させ、生涯学習情報を効率的・効果的に提供します。また、生涯学習情報誌「ステージアップ」の発行により、市内で活躍している市民や団体の活動を広く紹介します。

実施結果 (Do)	
本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が生涯学習のきっかけや場を探したり、自身の持つ知識や技術を地域に活かすなどの様々なニーズに応じられるよう、引き続き財団ホームページに「講座・イベント情報」「生涯学習関連施設情報」などの生涯学習情報を掲載しました。 ・また、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置により、講座・イベントの開催に影響が出たものの、各地区・団体イベント情報を積極的に収集し、ホームページ上で発信しました。ホームページの閲覧者が新たな情報をすぐに把握できるよう、新着情報を2週間の期限付きで「新着・更新情報」及び「NEW!」として目立たせるよう画面を工夫しました。また、新たなデジタルコンテンツとして、陶芸教室の動画をホームページ上で公開しました。 ・さらに、テレビメディアと連携してホームページに大河ドラマに関わりのある人物の特集を掲載し、多くの注目を集め、新規アクセス件数を増加させるための取組となりました。また、紙の生涯学習情報誌「ステージアップ」にも当人物について特集することで、より多くの注目を得るきっかけになりました。 <p>【指標2関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民に幅広く情報提供を行うため、生涯学習に関わる関連施設・諸事業や人材・団体等の情報収集を行い、市民からの生涯学習に関する相談に対応しています。令和3(2021)年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響はあったものの、「講座・イベント情報」の情報収集については、各団体の工夫により講座・イベントが実施されたため、令和2(2020)年度(1,623件)を上回る掲載数(2,161件)となりました。また、収集した学習情報を幅広く提供するため、団体の希望により神奈川県生涯学習情報システム「PLANET かながわ」へ情報提供(526件)しています。 <p>【その他】</p> <p>生涯学習情報誌「ステージアップ」は、市内で活躍する市民や団体、グループ活動の活動を記事として取り上げ紹介したり、財団や市民アカデミー主催の講座やイベント、生涯学習関連施設等を紹介するなど、生涯学習活動に関する周知・啓発にも留意して制作・発行することができました。ステージアップは季刊発行の年4回、各5,000部発行し、イベント情報だけでなく、人や地域のことを紹介するなど紙面の充実を図りました。メールマガジンを活用してタイムリーな情報配信を行いました。</p>

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	ホームページアクセス件数	目標値	/	54,000	54,200	54,400	54,600	件
	説明 情報の発信・提供の効果を具体的なホームページアクセス件数で測ります。 ※個別設定値: 53,078 (過去の平均値)	実績値	53,674	59,313	58,993	60,506	50,767	
2	学習情報掲載件数	目標値	/	1,882	1,932	1,982	2,032	件
	説明 学習情報の掲載件数で測ります。	実績値	1,832	1,892	2,432	1,623	2,161	

指標1 に対する達成度	C	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	a	

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

・ホームページアクセス件数については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う財団事業の対応・情報を含め財団ホームページの情報を月におよそ100～200回程度、積極的に更新するとともに、各種生涯学習情報の内容充実に努めました。令和3(2021)年度の実績値は目標値を下回りました。

・ホームページアクセス件数が伸び悩む中、原因を探るためにアクセス状況を解析したところ、ホームページを経ず、目的のページに直接アクセスするセッション件数が令和2(2020)年度の167,089件を大きく上回る、215,584件となっていることから、直接目的のページにアクセスされる人が多数いることがわかりました。

・こうしたことを踏まえ、次期「経営改善及び連携・活用に関する方針」では、ホームページの閲覧数であるアクセス数ではなく、どのページへアクセスしてもカウントすることができるセッション件数で管理することにしました。

・学習情報掲載件数につきましては、各団体がオンラインを併用するなど工夫をして開催していたことから、各団体のホームページを検索し、財団ホームページへ掲載できるよう依頼するなど積極的に情報収集に努めたことで実績値は目標値を上回りました。

<div style="background-color: #6aa84f; color: white; padding: 10px; font-weight: bold; font-size: 18px;"> 本市による評価 </div>	達成状況	C	区分 A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	区分選択の理由 ・積極的にホームページの更新を行ったものの、ホームページのアクセス状況の変化により、ホームページアクセス件数が目標値を下回ったため。 ・一方、生涯学習関連施設や関係団体、大学、民間教育機関などから生涯学習情報の収集を行ったところ、各団体が工夫してイベント等を実施するなど、掲載する学習情報が増加し、目標値を上回ったため。
--	------	----------	---	---

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	/	11,635	11,635	11,635	11,635	千円
	説明 直接事業費ー直接自己収入	実績値	10,792	11,455	12,793	12,200	11,465	
行政サービスコストに対する達成度		1)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が120%以上					

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

・行政サービスコストについては、業務の実施体制の見直し等により、直接事業費が減少することで、目標値を達成することができました。

・直接自己収入については、生涯学習情報誌「ステージアップ」の広告や、ホームページのバナー広告の件数が増加しました。

・生涯学習情報誌「ステージアップ」については、ステージアップへ原稿を提供いただいた団体と併せて広告の掲載を積極的に依頼し、承諾いただく等の営業努力により多くの広告を掲載することができました。

・ホームページについては、令和元(2019)年度に雇い入れた臨時職員やその他職員によるホームページ画面を見やすくする工夫等により多くのバナー広告を得ることができました。

・令和3(2021)年度においては令和2(2020)年度と比べて、ステージアップの広告は2件から4件、バナー広告は10件から11件と増加しています。

<div style="background-color: #6aa84f; color: white; padding: 10px; font-weight: bold; font-size: 18px;"> 本市による評価 </div>	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度等を踏まえ評価)	(2)	区分 (1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	区分選択の理由 ・行政サービスコストについては、業務の実施体制の見直しを図り、経費の縮減に努め、また、生涯学習情報誌「ステージアップ」の広告やホームページのバナー広告の確保に努めたことにより、目標値の範囲内であったが、「ホームページアクセス件数」は本市施策推進に関する指標の目標値を下回ったため。なお、「学習情報掲載件数」は丁寧な情報収集により目標値を上回っており、一定の成果を上げている。
--	---	------------	---	---

改善 (Action)

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
II	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	・今後も各団体の学習情報を積極的に収集するとともに、行政サービスコストの縮減に向けて営業努力を重ね、広告収入が得やすいようホームページ画面を工夫していきます。 ・なお、次期「経営改善及び連携・活用に関する方針」では、より事業効果を的確に把握するとともに、閲覧者がどのような情報を求めているかを知ること、より効果的な情報提供や事業実施につなげることができるよう、「アクセス件数」ではなく「セッション件数」を指標とします。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
----------	-----------------	-----	----------------------

本市施策推進に向けた事業取組③(令和3(2021)年度)

事業名	寺子屋先生養成事業
計 画 (Plan)	
指標	寺子屋先生養成講座を受講し、「地域の寺子屋事業」の運営へ新たに参加した人数
現状	市からの委託を受け、市内の各校で実施されている「地域の寺子屋事業」で学習支援の活動をする寺子屋先生を養成する講座を各区で開催しています。
行動計画	「地域の寺子屋事業」の拡充に合わせて、市と連携を取りながら、寺子屋先生養成講座を実施し、寺子屋事業の運営を担う人材の確保を図ります。
具体的な取組内容	「地域の寺子屋事業」において、市と連携し寺子屋先生を養成する講座を市内各所で開催し、受講生の増加に取り組み、寺子屋事業の運営を担う人材の確保を図ります。

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】</p> <p>・寺子屋先生養成講座は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から一部で学校見学を中止にしましたが、合計9期実施し、令和2(2020)年度(91人)から増え、198人の受講となりました。受講者を増やすための取組として、これまで通り各施設へ広報を行うのみならず、一部の町内会へ直接広報を行い、受講者の確保に努めました。</p>
----------------	--

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	寺子屋先生養成講座を受講し、「地域の寺子屋事業」の運営へ新たに参加した人数	目標値	/	50	50	50	50	人
	説明 寺子屋先生養成講座を受講し、「地域の寺子屋事業」の運営へ新たに参加した人数で測ります。	実績値	48	53	50	40	54	

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
----------------	---	---

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

新型コロナウイルス感染症拡大による寺子屋の活動縮小や休止などがありました。新たな地域の寺子屋の開設が進んだことにより、寺子屋先生養成講座を受講し、「地域の寺子屋事業」の運営へ参加した人数は令和2(2020)年度の40人から54人となり、実績値が目標値を上回りました。また、講座等の修了者に向けて、学校関連のボランティア活動への参加を併せて御案内しています。

	達成状況	区分 A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A	区分選択の理由 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響がながらも、新たな寺子屋の開設に合わせて寺子屋先生養成講座を受講し、「地域の寺子屋事業」の運営へ新たに参加した人数が目標値である「50人」を上回り、「54人」となったため。
--	------	--	---	---

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	/	661	661	661	661	千円
	説明 直接事業費ー直接自己収入	実績値	597	697	616	696	742	

行政サービスコストに対する達成度	3)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が120%以上
------------------	----	--

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

・目標設定時に比べて「寺子屋先生養成講座」の仕様の変更(事業拡大に伴う養成講座の開催回数の増加、即ち、令和3(2021)年度は、令和元(2019)年度の8期・令和2(2020)年度の7期に比べ開催数を9期に増やした)により委託費が増加していることから、行政サービスコストの実績値が目標値を超えました。
 ・ただし、講座受講者1人当たりの行政サービスコストについては、令和元(2019)年度の約4.8千円(616千円÷受講者129人)、令和2(2020)年度の約7.7千円(696千円÷受講者91人)に対し、令和3(2021)年度については、約3.8千円(742千円÷受講者198人)となっており、過去2年間よりも低いコストに抑えることができています。一定の費用対効果はあるものと捉えています。

	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度等を踏まえ評価)	区分 (1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(2)	区分選択の理由 ・寺子屋先生養成講座を受講し、「地域の寺子屋事業」の運営へ新たに参加した人数については、実績値が目標値を上回ったため。 ・行政サービスコストは、開催回数の増加や感染症対策に伴う費用の増加等により、実績値が目標値を超えたものの、講座1人当たりの行政サービスコストについては低額に抑えることができていますと認めることができるため。
--	---	--	-----	---

改善 (Action)

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I.	Ⅰ. 現状のまま取組を継続 Ⅱ. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 Ⅲ. 状況の変化により取組を中止
	I	・市と連携しながら費用の範囲内で効果の高い事業実施に努め、「寺子屋先生養成講座」の受講生増加に取組み、「地域の寺子屋事業」の運営を担う人材の確保につなげてまいります。 ・また、引き続き講座等の修了者に向けた地域活動への啓発等も併せて実施していきます。 ・さらに、次期「経営改善及び連携・活用に関する方針」では、講座受講者満足度についても指標とし、より多くの方々に参加いただけるよう努めます。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
----------	-----------------	-----	----------------------

3. 経営健全化に向けた取組①(令和3(2021)年度)

項目名	自主財源の増加
計 画 (Plan)	
指標	①授業料等収入の増加 ②施設使用料収入の増加
現状	生涯学習プラザの会議室等の貸出を行っているほか、収益事業として、市民が体力や健康状況に合わせたトレーニングやエクササイズなどに気軽に参加することで、健康な身体づくりや受講生同士の交流を目指すスポーツ教室、手軽に趣味や生活技術を学ぶことや受講生同士の交流を目指す文化教室、陶芸を通して作品に対する豊かな感性を磨くとともに、技術の習得や受講生同士の交流を目指す陶芸教室などを実施しています。
行動計画	公益財団法人としての使命をより積極的に果たしていくため、収益事業・施設提供事業による収益増によって、安定的な経営基盤の確保を図ります。
具体的な取組内容	収益事業では、市民ニーズの把握に努め、既存の講座の見直しや新規事業の開講など、募集定員に対する充足率を高めるための取組を継続します。各事業とも新型コロナウイルス感染症対策として、適切な募集定員を設定して実施します。施設提供事業では、施設利用促進のための広報(ホームページやステーション等)を充実させて、生涯学習プラザの継続的な利用を促進します。市と連携し、行政運営方針に準じて新型コロナウイルス感染症対策を図ります。



実施結果 (Do)	
経営健全化に向けた活動実績	<p>【指標1関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、1部屋あたりの定員の半数程度の募集人数としながらも、各教室ともほぼ計画どおり実施することができ、「スポーツ教室」延べ12,399人(令和2(2020)年度より5,514人増)、「文化教室」延べ1,064人(令和2(2020)年度より379人増)、「陶芸教室」延べ3,004人(令和2(2020)年度より1,423人増)が参加しました。 ・募集定員に対する充足率平均は、令和3(2021)年度は80.79%となり、令和2(2020)年度の77.95%から若干上昇しました。「スポーツ教室」「文化教室」の充足率は下がりましたが、陶芸教室は一部で12回コースを6回コース単位にすることで受講しやすくなるようにしたこともあり、充足率は上昇しました。 ・ICT活用として、「文化教室」では「はじめてのZoom」を企画・開催しました。 <p>【指標2関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により「緊急事態宣言の発出」「まん延防止等重点措置の適用」などの措置が図られたことにより、378件のキャンセルが発生し、損失は200万円程に及びましたが、年間の利用件数合計は7,631件と、前年度の実績である、5,382件を上回りました。要因の一つとしては、402フィットネスルーム壁面を全面改修することにより、部屋のイメージを一新したことで、利用者に大いに喜ばれ、口コミにより利用団体増につながりました。また、市内外の施設がワクチン接種会場になったことにより、活動場所を求める団体(約120団体程度)申し込みがありました。 ・また、令和2(2020)年10月から健康福祉局との連携により、シニア向け無料開放として101活動室、202会議室を年間を通して毎週火、金曜日の午前、午後を貸出しています。その分の施設使用料収入の増額分(1,223千円)の影響も大きいです。



評価 (Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	授業料等収入の増加	目標値	/	26,201	26,701	27,201	27,701	千円
	説明 授業料等収入の増加により測ります。	実績値		24,571	25,924	27,654	11,906	
2	施設使用料収入の増加	目標値	/	20,288	20,788	21,288	21,788	千円
	説明 施設使用料収入の増加により測ります。	実績値		20,717	20,140	20,055	16,342	

指標1 に対する達成度	C	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	a	

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

・授業料等収入については、各種講座等を計画通り実施することができ、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続くものの、実績値は現状値の水準に戻りつつあります。ただし、感染症対策から講座の定員を制限したことや、まん延防止等重点措置などの期間には、受講をキャンセルする方も多かったことから、令和元(2019)年度以前の水準までには回復しませんでした。

・施設使用料収入については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりキャンセルが多くありましたが、近隣の市民館がワクチン接種会場となったことからニーズが高まり、キャンセルを上回る団体利用があったことや、令和2(2020)年10月から開始されたシニア開放事業による収入の増加、令和2(2020)年度の施設使用料改定により、収益が増加しています。なお、施設環境の向上に向けて、利用ニーズの高い部屋の改修を行いました。

<div style="font-size: 24px; color: green;">➔</div> 本市による評価	達成状況	区分 A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	区分選択の理由 C ・各種講座・学級の中止・規模縮小等により授業料等収入が減少していることから、目標値を達成できなかったため。 ・一方で、生涯学習プラザの利用ニーズが高まったことや、シニア開放事業の継続的な利用があったことから、施設使用料収入が増加し、目標値を上回ったため。

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
		II

経営健全化に向けた取組②(令和3(2021)年度)	
項目名	財務改善
計画 (Plan)	
指標	管理費の縮減
現状	委託費の見直しや消耗品費の見直し等で削減を図っています。
行動計画	組織体制や事務分担、委託業務、事務経費など恒常的な経費の見直しにより効率性を高めることでコスト縮減を図ります。
具体的な取組内容	毎週開催する運営調整会議、毎月開催する経営委員会などの定期的な会議の中で、恒常的な経費の見直しを行い、組織体制や事務分担、委託業務、事務経費などの効率性を高め、コスト縮減を図ります。

実施結果 (Do)	
経営健全化に向けた活動実績	<p>【指標1関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織体制について、副理事長のポストを6月から削減することにより、事務局長兼務総務室長の職を常務理事兼務事務局長とし、総務係長を総務室長兼務として人件費の縮減に取り組みました。 ・また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、窓の開閉を頻繁に行っていたため電気を消費していましたが、営業前後に電源を切り切りする工夫や、利用終了後に速やかに空調や照明等の電源を落とし、光熱水費の縮減に努めました。

評価 (Check)								
経営健全化に関する指標		目標・実績	H29年度(現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	管理費の縮減	目標値		116,437	115,088	113,711	112,711	千円
	説明 管理費の縮減により測ります。	実績値	118,125	113,418	118,261	115,420	83,850	
指標1に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
<ul style="list-style-type: none"> ・共通経費(土地・建物賃借料、光熱水費)の各事業の現状を踏まえた、適切な会計処理のための配賦率の見直しにより、管理費が縮減しました。 ・また、光熱水費の急騰や新型コロナウイルス感染症対策による諸経費(感染症対策に係る事務経費等)が増加となっているものの、人件費の縮減や日々の電気や水道の使い方の見直しにより成果を上げています。 								

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A	<ul style="list-style-type: none"> A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った

改善 (Action)		
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

4. 業務・組織に関する取組①(令和3(2021)年度)

項目名	人材育成研修の実施及びコンプライアンスの遵守
計画 (Plan)	
指標	①研修の実施回数 ②コンプライアンスに反する事案の発生件数
現状	職員等の意欲や能力向上を目的に4回の研修を実施し、人材の育成を図っています。また、コンプライアンスに反する事案は発生していません。
行動計画	研修の機会を確保し、人材育成研修の充実を図ります。また、コンプライアンスに反する事案の発生件数は0件を維持します。
具体的な取組内容	・業務理解、業務推進、情報スキル等の職員研修を実施する機会を確保し、企画力、業務執行力、専門性の向上を図ります。 ・コンプライアンス意識の高い職場の醸成に努めます。

実施結果 (Do)

業務・組織に関する活動実績	<p>【指標1関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務遂行のスキルや意識を高める研修を実施し、「Zoom(Web会議)研修初級編」に16人、「中級編」に20人、「補講」に14人の参加があり、職員のスキルアップを図りました。 ・「災害時の行動に関する研修」に21人、「応急手当・普通救命講習会」に14人の参加があり、災害時における施設利用者や、けが人への迅速かつ的確な対応ができるよう研修しました。 <p>【指標2関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場内の打合せや職員研修等の機会を活用して、情報共有やコミュニケーションを促進することで、風通しの良い職場づくりを推進するとともに、コンプライアンス意識の高い職場風土の醸成に努めました。
---------------	--

評価 (Check)

業務・組織に関する指標	目標・実績	H29年度(現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1 研修の実施回数	目標値	4	5	5	5	5	回
	説明 研修の実施回数により測ります。						
2 コンプライアンスに反する事案の発生件数	目標値	0	0	0	0	0	件
	説明 コンプライアンスを遵守します。						
指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
指標2 に対する達成度	a						
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)							
・研修の実施回数については、目標値を達成しました。引き続き、職員の能力向上のため研修内容を精査するとともに、計画的に実施し職員の能力向上に努めます。 ・コンプライアンスに反する事案の発生は無く、目標値を達成しました。今後も、コンプライアンス意識の高い職場風土の醸成に努めます。							

	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A ・人材育成のための研修を目標値である「5回」という回数を実施するだけでなく、社会的ニーズや時節に応じた研修など今必要な研修を実施することで、職員の能力向上に繋がったほか、法令違反等のコンプライアンスに反する事案は発生しなかったため。

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I	・引き続き、計画的な研修の実施及び社会的ニーズに応じた研修を実施し、職員の能力向上に努めます。また、コンプライアンス意識の高い職場風土の醸成に努めます。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
----------	-----------------	-----	----------------------

業務・組織に関する取組②(令和3(2021)年度)	
項目名	事業・業務の点検
計 画 (Plan)	
指標	実施回数
現状	年に2回、各事業・業務の成果と課題まとめを行っています。
行動計画	上半期・下半期に各事業・業務の点検評価を行うことで、課題解消や改善点を迅速に各事業・業務に反映するとともに、次年度の事業計画にも反映します。
具体的な取組内容	上半期・下半期に各事業・業務の点検評価を行い、課題解決に向けた改善点を運営調整会議や経営委員会にて検討した上で、次期事業計画等に反映します。また、点検結果については理事会で報告します。

実施結果 (Do)	
業務・組織に関する活動実績	<p>【指標1関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上半期・下半期に各事業の実施状況や運営体制の点検評価を行うとともに、新型コロナウイルス感染症対策について、随時、協議を重ね、迅速に対応しました。点検結果を基に、上半期では、新型コロナウイルス感染症影響下における学級・講座の実施手法や施設使用料への影響等を検討し、引き続き定員を制限し安心・安全な事業に努めることを確認するとともに、シニア開放事業による収益や団体の施設利用状況について確認を行いました。下半期では、事業計画の立案と予算編成、収支改善に向けた検討を進め、令和4(2022)年度の計画に反映しました。 ・毎週開催する運営調整会議、毎月開催する経営委員会で、講座の充足率を上げるため講座の実施回数を見直したり、貸館の閉館日数を増やすため施設点検日を整理するなど、各事業・業務の点検評価を行い、令和4(2022)年度の計画に反映しました。

評 価 (Check)								
業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	実施回数	目標値	1	2	2	2	2	回
	説明 実施回数により測ります。	実績値		2	2	2	2	
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
・実施回数については、目標値を達成しました。上半期は新型コロナウイルス感染症影響下における学級・講座の実施手法や施設使用料への影響等を検討し、引き続き定員を制限して、安心・安全な事業に努めることを確認するとともに、シニア開放事業による収益や団体の施設利用状況について確認を行いました。下半期は事業計画の立案と予算編成、収支改善に向けた検討を進め、令和4(2022)年度の計画に反映しました。								

	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A ・上半期・下半期に各事業の実施状況や運営体制の点検評価を行い、目標値を達成したため。 ・また、点検の結果、事業計画・収支計画などを見直し、次年度に計画として反映させることができたため。

改 善 (Action)	
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性の具体的内容
Ⅰ. 現状のまま取組を継続 Ⅱ. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 Ⅲ. 状況の変化により取組を中止	Ⅰ ・引き続き各事業・業務の点検評価を行い、課題解決に向けた改善点を次年度の事業計画に反映できるよう努めます。

●法人情報

(1)財務状況

収支及び財産の状況(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
正味財産増減計算書	(一般正味財産増減の部)				
	経常収益	291,463	301,231	293,926	313,619
	経常費用	300,502	311,480	305,608	313,076
	当期経常増減額	△9,039	△10,249	△11,681	543
	当期一般正味財産増減額	△11,202	△10,249	△11,372	543
貸借対照表	(指定正味財産増減の部)				
	当期指定正味財産増減額		3,000		
	正味財産期末残高	313,391	306,141	294,769	295,312
貸借対照表	総資産	331,753	321,940	309,431	308,359
	流動資産	48,097	41,355	32,047	33,179
	固定資産	283,656	280,585	277,384	275,180
	総負債	18,362	15,799	14,662	13,047
	流動負債	18,362	15,799	14,662	13,047
	固定負債				
	正味財産	313,391	306,141	294,769	295,312
	一般正味財産	113,391	103,141	91,769	92,312
	指定正味財産	200,000	203,000	203,000	203,000

エラーチェック	OK	OK	OK	OK
----------------	----	----	----	----

本市の財政支出等(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
補助金		138,934	139,504	140,185	141,811
委託料		5,393	5,238	8,607	10,795
指定管理料		93,271	101,707	102,562	105,165
貸付金(年度末残高)					
損失補償・債務保証付債務(年度末残高)					
出捐金(年度末状況)		200,000	200,000	200,000	200,000
(市出捐率)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

財務に関する指標		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
流動比率(流動資産/流動負債)		261.9%	261.8%	218.6%	254.3%
正味財産比率(正味財産/総資産)		94.5%	95.1%	95.3%	95.8%
正味財産利益率(当期正味財産増減額/正味財産)		-3.6%	-2.4%	-3.9%	0.2%
総資産回転率(経常収益/総資産)		87.9%	93.6%	95.0%	101.7%
収益に占める市の財政支出割合 (補助金+委託料+指定管理料)/経常収益		81.5%	81.8%	85.5%	82.2%

法人コメント		本市コメント
現状認識	今後の取組の方向性	本市が今後法人に期待することなど
<p>公益財団法人として、公益目的事業を行うために必要な費用を大幅に超える収入を、長期間、得続けてはならないとする収支相償をはじめとする、財務に関する基準を満たすとともに、法人の設置目的を果たすため、感染症対策を講じながら事業を実施してきました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、中止になった事業がある一方で、実施できる事業については定員を制限したり、オンラインを併用するなど工夫しながら、着実に取組を進めてきました。また、生涯学習プラザの利用ニーズを踏まえ、施設利用促進のための取組も同時に進めてきました。</p> <p>結果として、事業実施に伴う経費(経常費用)が増加したものの、経常収益はそれを上回り、正味財産を増やすことにつながりました。</p>	<p>市民に自主的な活動及び交流の場を提供し、活力に満ちた市民自治社会の構築に寄与する生涯学習財団の果たす役割はますます重要になってきます。</p> <p>引き続き、各事業における経営安定化に向け、事業費・管理費の支出を抑制するとともに、経費削減の取組を行います。</p> <p>今後についても、所管課との連携・協議を十分に図り、公益法人としての役割を果たしながら、次期「経営改善及び連携・活用に関する方針」の目標達成に向けて、授業料等収入や施設使用料収入の増加などの着実な取組を進め、引き続き収支均衡を目指してまいります。</p>	<p>令和3(2021)年度については新型コロナウイルス感染症拡大により、一部事業の中止や規模縮小を余儀なくされたものの、オンラインを併用しながら事業を実施することで授業料等や、近隣市民館がワクチン接種会場となったこと等により市民ニーズが高かった施設使用料等の経常収益が前年度比で増加しています。一方、事業実施に伴う謝金や消耗品費などの増加により、経常費用も前年度比で増加しています。</p> <p>今後も公益財団法人としての使命をより積極的に果たしていくため、ICT等を活用した事業の工夫により受講者・利用者の確保に努めるほか、収益事業による自主財源の確保や事務経費などの節減を通じて、各事業の収益改善に取り組み安定的な経営基盤を確保した運営を期待します。</p>

(2)役員・職員の状況(令和4年7月1日現在)

	常勤(人)			非常勤(人)		
	合計	(うち市派遣)	(うち市OB)	合計	(うち市在職)	(うち市OB)
役員	2	0	2	7	0	1
職員	5	0	5	23	0	6

【備考】

●総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解・理由

・今後の方向性